

2025年度 聖ドミニコ学園中学校入学試験（第1回）

算数 50分

◎次の注意事項を読んでください。

- 試験開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 問題は全部で2ページあります。
- 問題用紙2枚ともに受験番号と氏名を書いてください。
- 答えは問題用紙の解答枠内に書き入れ、指示があるものはそれに従って記入してください。
途中式は消さずに残しておいてください。
- 定規は使用できます。分度器、コンパスは使用できません。

2025 年度聖ドミニコ学園中学校入学試験（第 1 回）算数

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 次の にあてはまる数を入れなさい。

$$(1) 60 - 48 \div 6 - 3 \times 17 = \boxed{}$$

$$(2) 962 \div 148 \times 8 \div 26 = \boxed{}$$

$$(3) (462 - 28) \div 14 - 3 \times 9 = \boxed{}$$

$$(4) 0.05 \times (19.3 - 18.9) \times 400 = \boxed{}$$

$$(5) 4\frac{1}{5} + \frac{11}{15} - 3\frac{5}{6} = \boxed{}$$

$$(6) 8\frac{3}{5} - 3\frac{1}{4} \div 0.7 \times 1.4 = \boxed{}$$

$$(7) 2.4 \div 2\frac{1}{4} \div \left(\frac{1}{3} + 1.4 - \frac{2}{5} \right) = \boxed{}$$

$$(8) 2.5 \times 7.02 + 0.25 \times 38 - 0.025 \times 442 = \boxed{}$$

$$(9) \left(4 \times \boxed{} - 8 \right) \div (47 - 32) = 8$$

$$(10) 4 \times \left(4.25 - 2\frac{7}{20} + 0.1 \right) \div \boxed{} + 1\frac{7}{8} = 2$$

2. 次の にあてはまる数を入れなさい。

(1) 15 本で 1200 円の えんぴつ があります。4000 円あればこの鉛筆を 本買なうことができます。

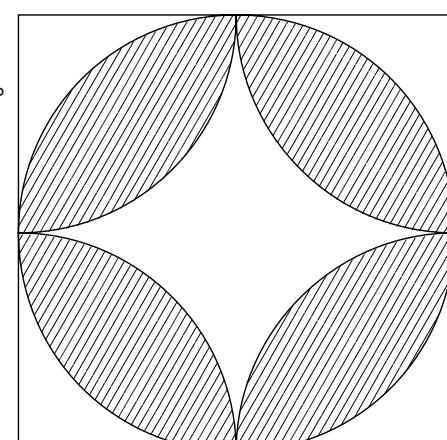
(2) 3 行の整数の中で、4 の倍数は 個あります。

(3) 定価の 2 割引きが 1528 円であったとき、定価は 円です。

(4) 分速 m で 12 分 24 秒進むと、8.928 km 進みます。

(5) 右の図は 1 辺が 6 cm の正方形、半径が 3 cm の円、半径が 3 cm のおうぎ形 4 個を組み合わせたものです。

斜線部分の面積は cm² です。ただし、円周率は 3.14 です。



3. 図1のように、水が L 入った水そうと、毎分一定の割合で水を入れる蛇口Aと水をぬぐ排水口Bがあります。その水そうにはどのくらいの水の量が入っているかがわかる目盛りが 20L と 80L についています。太郎さんは蛇口 A を開き、34 分後に排水口 B も開きました。図2はその様子をグラフに表したものです。

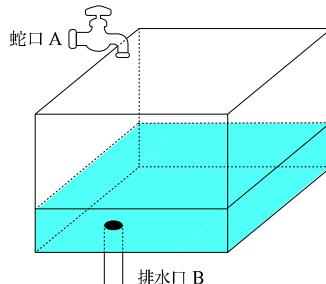


図1

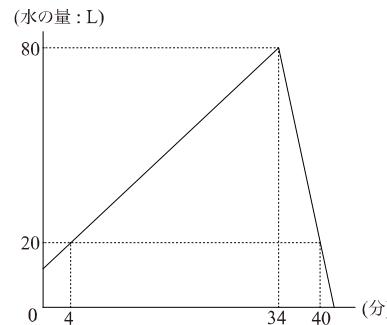


図2

- (1) にあてはまる数を答えなさい。

- (2) 排水口 B から流れ出る水の量は 1 分間に何 L ですか。

 L

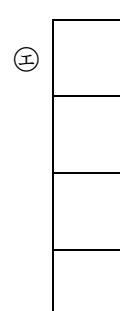
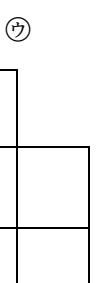
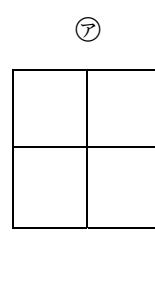
- (3) 次郎さんは、太郎さんと同じように水そうに L の水が入った状態で蛇口 A を開き、34 分後に排水口 B を開こうと思っていました。しかし、排水口 B を開くのを忘れてしまい、少したってから開いたところ、蛇口 A を開いてから 48 分 54 秒後に水そうは空になりました。排水口 B を開いたのは蛇口 A を開いてから何分後ですか。ただし、水そうから水があふれ出ることはありませんでした。

 分 秒後

4. 以下の表から、⑦～⑩のいずれかの形になる連続した 4 マスを選び、次のルールで計算します。

ルール まず \times の記号や \div の記号を含まないマスの数を合計して、次に \times の記号を含むマスの数をかけ算して、最後に \div の記号を含むマスの数で割り算をします。

20	$\times 2$	$\times 3$	40	$\div 2$
30	10	90	100	20
$\times 3$	$\times 5$	$\times 4$	50	10
20	$\times 3$	40	20	$\times 2$



注：⑦～⑩は回転することはできません。

例1：⑦を使って表の赤色部分を囲むと
 $(10 + 90) \times 2 \times 3 = 600$ です。

20	$\times 2$	$\times 3$	40	$\div 2$
30	10	90	100	20
$\times 3$	$\times 5$	$\times 4$	50	10
20	$\times 3$	40	20	$\times 2$

例2：⑧を使って表の青色部分を囲むと
 $20 + 50 + 10 + 20 = 100$ です。

20	$\times 2$	$\times 3$	40	$\div 2$
30	10	90	100	20
$\times 3$	$\times 5$	$\times 4$	50	10
20	$\times 3$	40	20	$\times 2$

- (1) ⑩を使って一番大きい数を作ります。いくつになるか答えなさい。

- (2) 一番大きい数を作るには何を使えばよいでしょうか。⑦～⑩の中から選びなさい。

また、その数はいくつになるか答えなさい。

使うもの

一番大きい数

受験番号		氏名	
------	--	----	--